

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調査

| | | | | |
|--------------|--|--|---|--|
| (1) 取組名 | 「子育てママが生き生き働くまちづくりプロジェクト」～大津市におけるワーク・ライフ・バランスの促進～ | | | |
| (2) 実施団体名 | 学校法人龍谷大学 | (3) 対象地域 | 滋賀県大津市 | |
| (4) 代表団体名 | | (5) 推薦団体名 | 滋賀県大津市 | |
| (6)実施した取組の内容 | 取組① | 地元中小企業へのヒアリング及びアンケートの実施 | | |
| | 実施主体 | 学校法人龍谷大学 | | |
| | 実施内容、実施結果 | 当初提案により予定していた計画 | 実際の取組内容及びその結果 | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容 地元企業へのヒアリング及びアンケートの実施 ・実施時期 ヒアリング9月下旬、アンケート10月中旬 ・実施場所 地元中小企業 ・実施方法 プロジェクトメンバーによる経営者または人事担当者へのヒアリング調査 ・対象数 ヒアリング15社、アンケート500社 | <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容 地元企業へのヒアリング及びアンケートの実施 ・実施時期 ヒアリング7月30日～8月28日、アンケート12月11日～1月19日 ・実施場所 大津市を中心とする地元中小企業 ・実施方法 プロジェクト会議にて、ヒアリングシートを作成。ネットワークを通じて、メンバー数名によるグループを編成して、各企業の経営者又は人事担当者へのヒアリングを実施。ヒアリングの内容を踏まえ、アンケート項目の検討を行い、アンケートの内容を11月に確定。Web上にアンケートを掲載し、郵送およびe-mailにより、アンケート回答の依頼。依頼先については、地元経済団体等に協力を依頼して実施、現時点で140社からの回答を得ている。 ・対象数 ヒアリング15社、アンケート3,363社 | |
| | 取組② | ヒアリング及びアンケート結果の分析、データベース作成及び解決モデル構築・検証 | | |
| | 実施主体 | 学校法人龍谷大学 | | |
| | 実施内容、実施結果 | 当初提案により予定していた計画 | 実際の取組内容及びその結果 | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容 アンケート分析、データベース作成及び解決モデル構築・検証 ・実施時期 アンケート分析、データベース作成12月、解決モデル構築・検証1月 ・実施場所 龍谷大学 ・実施方法 アンケート結果の集約、分析を行い、具体的な課題を明確にし、解決モデルを検討する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容 アンケート分析、データベース作成及び解決モデル構築・検証 ・実施時期 アンケート分析、データベース作成(2月中旬予定)、解決モデル構築・検証(3月上旬予定) ・実施場所 龍谷大学 ・実施方法 web上で集約しているアンケートを分析し、具体的な課題を明確にする。それらを基に、プロジェクト会議(2月上旬予定)にて課題解決モデルを検討する。併せて、アンケートの結果及び解決モデル等についての報告会を地元中小企業を対象に実施する(3月上旬予定)。 | |
| | 取組③ | 子育て期にある女性の地域社会への参画を促すための啓発イベント及び女性のスキルアップを目指したプログラムの開発・実施 | | |
| | 実施主体 | 学校法人龍谷大学 | | |
| 実施内容、実施結果 | 当初提案により予定していた計画 | 実際の取組内容及びその結果 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容 プログラムの開発・実施 ・実施時期 プログラム開発期間1か月、実施期間11月から12月まで、啓発イベントの実施期間11月 ・実施場所 龍谷大学 ・実施方法 メンバーの有する情報・ネットワークを活用し、女性の就労支援を行うための講座やイベントを実施し、スキルアップや就労意欲向上を促進する。 ・対象者数等 660名 | <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容 プログラムの開発・実施 ・実施時期 プログラム開発期間1か月(9月) プログラム実施期間2ヶ月(10月-11月) オープンセミナー講演会「仕事を通して人生を学ぶ」(10月4日) 第1回講座「暮らしの経済学」(10月11日) 第2回講座「社会の仕組み・仕事の仕組み」(11月1日) 第3回講座「女性の再就職をめぐる動向を知ろう」(11月8日) 第4回講座「自分を知ろう」(11月15日) 第5回-6回講座「コミュニケーション・スキルアップ講座」(11月22日) ・実施場所 龍谷大学 ・実施方法 10月から11月にかけて、子育て期にある女性を主な対象とした、セミナー及び講座を開催した。啓発イベントであるセミナーにおいては、東京日産自動車販売株式会社代表取締役の林文字子氏を招いて、講演会・対談を行った。(参加者約300人) 続いて、「女性のための再就職支援講座」として、計6回の講座を開講し、地域の子育て期にある女性を中心に、延べ約320名の受講があった。講座では託児室を設けて受講を促進し、また、受講後のキャリアカウンセリングを実施した。 ・受講者数620名(セミナー及び講座) | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|--|--|--|-----|---|-----------------|---|----------------|--|-------|---|-----|---|-----------------|---|----------------|--|--|
| <p>(7)実施体制</p> | <p style="text-align: center;">平成20年度の取組実施における体制・役割分担</p> | <p style="text-align: center;">取組の実施を踏まえた反省点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・龍谷大学とオムロンパーソネル㈱、大津市、雇用能力開発機構のメンバーを中心に、プロジェクト会議を実施。各メンバーの日程調整に苦慮した。 ・メンバーの紹介により、中小企業の情報や支援実績を有する、三菱UFJキャピタル㈱から会議に出席いただいた。 ・アンケートの実施にあたっては、当初は龍谷大学を中心に依頼先をまとめていたが、メンバーのネットワークを活用し、大津商工会議所、滋賀県中小企業家同友会、滋賀経済産業協会、京都商工会議所、京都工業会、京都経済同友会、京都中小企業家同友会、関西ニュービジネス協議会等の協力を得ることができたのは有効であった。 ・当初のスケジュールよりも先行して準備し始めたものの、検討段階において時間を必要としたものが多く、遅れ気味になってしまった。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(8)取組により得られた成果</p> | <table border="1"> <tr> <td data-bbox="302 523 414 654">○成果1→</td> <td data-bbox="414 523 1131 654">大津市を中心に京滋地区の中小企業を対象にヒアリング及びアンケートを実施し、課題・ニーズ等を把握し、分析・検証を行い地元企業の活性化、生産性の向上を図る。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="302 654 414 742">H19</td> <td data-bbox="414 654 1131 742">地元中小企業の人材育成・人材確保に関する課題・ニーズが不明確であり、雇用のミスマッチが生じている。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="302 742 414 821">H20(当初予定していた目標)</td> <td data-bbox="414 742 1131 821">ヒアリング及びアンケートによる人材育成・確保に関するニーズ等の把握・分析。分析結果をデータベース化し、解決モデルを構築し、最適な雇用形態を確立・提案する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="302 821 414 901">H20(実際に得られた成果)</td> <td data-bbox="414 821 1131 901">企業へのヒアリング及びアンケートを通じて、人材の育成・確保に関する、地元を中心とする企業の現状、課題を把握することができた。また、ヒアリング及びアンケートを実施する段階において、地元経済団体等の有効な関係を構築することができた。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="302 901 414 957">○成果2→</td> <td data-bbox="414 901 1131 957">子育て期にある女性の地域社会への参画を促すためのイベントの開催及び講座等の拡充。また、就労等を見据えたプログラムの開発・実施により、子育て期にある女性等の意識改革を図る。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="302 957 414 1037">H19</td> <td data-bbox="414 957 1131 1037">子育て期にある女性を対象としたスキルアップや就労に即効性のある講座が不足しており、地元地域への参画意識が低い。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="302 1037 414 1117">H20(当初予定していた目標)</td> <td data-bbox="414 1037 1131 1117">ヒアリング及びアンケートの結果を踏まえ、講座や就職支援サービスを実施。また、地域社会への参画を促すためのイベントを展開し、地元地域に対する意識改革を喚起する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="302 1117 414 1197">H20(実際に得られた成果)</td> <td data-bbox="414 1117 1131 1197">子育て期にある女性の就労ニーズ、習得したいスキル等を把握することができた。また、8割以上の受講者から講座の内容について満足であるとの回答を得ることができた。</td> </tr> </table> | ○成果1→ | 大津市を中心に京滋地区の中小企業を対象にヒアリング及びアンケートを実施し、課題・ニーズ等を把握し、分析・検証を行い地元企業の活性化、生産性の向上を図る。 | H19 | 地元中小企業の人材育成・人材確保に関する課題・ニーズが不明確であり、雇用のミスマッチが生じている。 | H20(当初予定していた目標) | ヒアリング及びアンケートによる人材育成・確保に関するニーズ等の把握・分析。分析結果をデータベース化し、解決モデルを構築し、最適な雇用形態を確立・提案する。 | H20(実際に得られた成果) | 企業へのヒアリング及びアンケートを通じて、人材の育成・確保に関する、地元を中心とする企業の現状、課題を把握することができた。また、ヒアリング及びアンケートを実施する段階において、地元経済団体等の有効な関係を構築することができた。 | ○成果2→ | 子育て期にある女性の地域社会への参画を促すためのイベントの開催及び講座等の拡充。また、就労等を見据えたプログラムの開発・実施により、子育て期にある女性等の意識改革を図る。 | H19 | 子育て期にある女性を対象としたスキルアップや就労に即効性のある講座が不足しており、地元地域への参画意識が低い。 | H20(当初予定していた目標) | ヒアリング及びアンケートの結果を踏まえ、講座や就職支援サービスを実施。また、地域社会への参画を促すためのイベントを展開し、地元地域に対する意識改革を喚起する。 | H20(実際に得られた成果) | 子育て期にある女性の就労ニーズ、習得したいスキル等を把握することができた。また、8割以上の受講者から講座の内容について満足であるとの回答を得ることができた。 | |
| ○成果1→ | 大津市を中心に京滋地区の中小企業を対象にヒアリング及びアンケートを実施し、課題・ニーズ等を把握し、分析・検証を行い地元企業の活性化、生産性の向上を図る。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H19 | 地元中小企業の人材育成・人材確保に関する課題・ニーズが不明確であり、雇用のミスマッチが生じている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H20(当初予定していた目標) | ヒアリング及びアンケートによる人材育成・確保に関するニーズ等の把握・分析。分析結果をデータベース化し、解決モデルを構築し、最適な雇用形態を確立・提案する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H20(実際に得られた成果) | 企業へのヒアリング及びアンケートを通じて、人材の育成・確保に関する、地元を中心とする企業の現状、課題を把握することができた。また、ヒアリング及びアンケートを実施する段階において、地元経済団体等の有効な関係を構築することができた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○成果2→ | 子育て期にある女性の地域社会への参画を促すためのイベントの開催及び講座等の拡充。また、就労等を見据えたプログラムの開発・実施により、子育て期にある女性等の意識改革を図る。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H19 | 子育て期にある女性を対象としたスキルアップや就労に即効性のある講座が不足しており、地元地域への参画意識が低い。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H20(当初予定していた目標) | ヒアリング及びアンケートの結果を踏まえ、講座や就職支援サービスを実施。また、地域社会への参画を促すためのイベントを展開し、地元地域に対する意識改革を喚起する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| H20(実際に得られた成果) | 子育て期にある女性の就労ニーズ、習得したいスキル等を把握することができた。また、8割以上の受講者から講座の内容について満足であるとの回答を得ることができた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・当初の計画では、地元企業へのヒアリング・アンケートと、子育て期にある女性を対象とした講座やイベントの開発・実施については、連携を図りながら進めていくこととしていた。実際には、スケジュール等の関係上、メンバーの有するリソースやノウハウについては活用できたものの、企業への調査と女性向けイベントの有効な連携は困難であった。 ・要因としては、このような取組みに前例もなく、作業ノウハウも明確でない中で動き出したため、戸惑いと試行錯誤を繰り返し、系統だった作業を積み重ねることができなかった。このため、企業への調査と女性向けイベントの有効な連携は非効率な進め方となってしまった。 ・地域が現在抱えている課題(雇用問題、地域振興、市民講座サービスの維持など)とのリアルタイムなリンクが乏しかったことも反省点として挙げられる。 ・プロジェクトメンバーの日程調整が困難なこともあり対面式会議の開催回数が少なかったが、それを補う電子会議が活発であった。結果、企業の状況、PJメンバーの考えも共有できるようになり、個々の役割を認識した上で、共同作業を行えるようになった。 ・大津市を中心とした地元中小企業を核に選定してヒアリングを行う事ができたことや、大津市担当者も交えた会議を行って行く中で、市が抱える課題を意識した人材育成・確保のあり方を検討することができた。 ・子育て期にある女性の就労支援を視野に入れた育成プログラムの見直しや、開発、実施におけるガイドラインの素案作りができた。 ・今年度の取組により、双方の取りまとめや方向性が明確になるため、今後は有効な連携のもと、新たなモデルの構築や、講座の開発を行いたい。 ・地元からは、大津市と雇用・能力開発機構滋賀センターに参画いただいたが、産業分野や女性支援分野からの参画も今後は求めていく必要がある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | 当初提案に予定していた平成21年度以降の展開 | 今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度 |
|---------------------|--|---|
| (10)平成21年度以降の活動の見込み | 1. 地元中小企業を対象とした経営に関するセミナー・研究会の実施 (平成21年9月以降を予定) | 1. 地元中小企業を対象とした経営に関するセミナー・研究会の実施 アンケート・ヒアリングで得ることができた成果をもとに、地元企業を対象とした、新たな雇用モデルについての提案・意見交換等を実施する。 場所については大学を活用し、経営面にとどまらず技術面の支援を見据えた産官学連携事業ともリンクさせながら実施する。 ・地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定予算額 100万円:講師謝金、交通費、印刷費、会場費等) |
| | 2. 新たな雇用システムの開発・活用 (平成21年4月以降を予定) | 2. 新たな雇用システムの開発・活用 平成20年度に提案したモデル(予定)をもとに、地元中小企業で実際にモデルを活用できるよう働きかける。各企業の現状に応じた個別のモデルにアレンジするなどして、課題解決に貢献する。 ・地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定予算額 200万円:調査費、会議費、交通費、印刷費等) |
| | 3. 子育て期にある女性のスキルアップを目指したプログラムの開発・実施 (平成21年9月以降を予定) | 3. 子育て期にある女性のスキルアップを目指したプログラムの開発・実施 平成20年度に実施した実績や把握したニーズを踏まえ、より就労を目指したスキルアップ等を行える講座を開発実施する。体系的なプログラムを開発し、履修証明等ができるよう質・量の充実を図る。併せて、受講後の就労状況についての把握も行い、フォローアップや改善を行う方策を検討する。 ・地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定予算額 300万円:調査費、会議費、交通費、印刷費、講師謝金、会場費等) |
| | 4. 子育て期にある女性の地域社会への参画を促すための啓発イベントの実施 (平成21年9月以降を予定) | 4. 子育て期にある女性の地域社会への参画を促すための啓発イベントの実施 平成20年度に実施した、子育て期にある女性を中心とした社会参画を促すためのイベントを引き続き開催する。それらを通じて、講座受講や就労への意欲喚起を行う。 ・地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定予算額 100万円:講師謝金、交通費、印刷費、会場費等) |
| | 当初提案になし | 5. 地域産業活性化計画との連携 滋賀県・大津市・草津市の連名により国に同意された「企業立地促進法に基づく地域産業活性化計画」の中に挙げられている計画との連携を図る。具体的には本事業を核として、大津市・商工会議所等との連携を図りながら、人材確保の仕組みづくりについての検討を行う。 |

◆主な実施取組の内容◆

取組①: 地元中小企業へのヒアリング及びアンケートの実施

実施主体: 龍谷大学

実施内容・結果: プロジェクトメンバー数名による経営者又は人事担当者へのヒアリングを実施。ヒアリングの内容を踏まえ、アンケートを依頼。地元経済団体等に協力を得て、140社からの回答を得た(1月末現在)。

取組②: 地元中小企業へのヒアリング及びアンケートの分析

実施主体: 龍谷大学

実施内容・結果: アンケートを分析し、企業が抱える課題を明確にする。それらを基に、プロジェクト会議にて課題解決モデルを検討する。



取組③: 子育て期にある女性のスキルアップを目指したプログラムの開発・実施及び子育て期にある女性の地域社会への参画を促すための啓発イベントの実施

実施主体: 龍谷大学

実施内容・結果: 10月から11月にかけて、セミナー及び講座を実施。セミナーでは、東京日産自動車販売(株)代表取締役の林文子氏を招いて、講演会・対談を行った。「女性のための再就職支援講座」として、計6回の講座を開講し、延べ620名が参加した。



◆取組実施による成果・今後の展開◆

企業を対象としたヒアリング・アンケートにより、企業の課題を把握できたことを踏まえて、積極的に子育て期にある女性をはじめとする労働力の確保・活用ができるよう解決策を提言し、地域中小企業の労働力確保・生産性向上に繋げていく。また、女性を対象としたイベントについては平成21年度以降も継続的に実施し、スキルアップ等を目的とする講座についても内容の見直しを行いながら、得ることのできたニーズに応じたプログラムを展開する。

併せて就労支援やマッチングについても視野に入れ、関連する地域の支援機関と協体制を構築することにより、子育て期にある女性を中心に支援し、新たな雇用創出に貢献していく。更には、「企業立地促進法に基づく地域産業活性化計画」とも連携しながら大津市による事業所等の誘致も見据えた展開を連携して実施していく。目標としては、平成20年度に引き続き、大津市における子育て期全盛期の女性(特に30~34歳をターゲットとする)の就業率の向上に貢献できるよう展開する。具体的には、平成17年国勢調査時には県下最低であった就業率(53.9%)について、県平均レベル(58.4%)までの向上を目指す。